

【中学生議会 市長答弁様式1】

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	小岩 直紀 議員
発言順(通し番号)	NO: 1	所 管 課 ・ 室 名	危機管理課

質 問 事 項	災害後の対策について
---------	------------

【市長答弁】

小岩議員のご質問にお答えします。

地震や集中豪雨等による災害発生前後の対策につきまして、市では安曇野市地域防災計画に災害に備える業務と災害発生からの復旧などを定めて総合的に対応できるように準備しております。

その一つとして、防災マップやハザードマップをお配りしたり、防災講演会や出前講座などを通じて災害への対処についてお知らせしています。

また、各学校においても、災害発生時の対応について話し合っていていただくことが大切です。また、市民一人ひとりが災害に備え、取り組んでいただく必要もあります。

皆さんも、ご家族で話し合っていていただき、防災に関する意識や知識を高め、また防災用品や水、食料を備蓄しておくようお願いいたします。

災害発生後の対策として、家屋につきましては被害状況の調査を行い、住宅再建に必要な「り災証明」を発行し、国や県の支援制度等により被災者支援を行います。

次に、ニジマスやわさびといった名産品が被害を受けた場合ですが、幸いなことに、ニジマスについては今まで被害を受けた情報はありません。

しかし、平成 26 年 2 月に降った大雪により植付間も^{うえつけま}ない「わさび」が押しつぶされ、枯れてしまった被害があり、その他の名産品の一つである「りんご」や「なし」などの「くだもの」も、「凍霜害」^{とうそうがい}などの農作物被害が発生しております。

市では、農作物災害により農家の経済的・精神的ダメージを少しでも軽減できるよう県とも連携し、「わさび」では、枯れてしまった苗の代わりに新しい苗の購入費や、「りんご」や「なし」などの果樹へは、樹体の生育を取り戻す肥料の配布などを行い、農家支援を行っております。

【中学生議会 市長答弁様式1】

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	戸田貴也 議員
発言順(通し番号)	NO: 2	所 管 課 ・ 室 名	地域づくり課

質 問 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>高齢者の交通安全について【地域づくり課】</u> ・ 医師等による運転能力の判断と運転免許を返納するしくみづくり、「代わりに運転してもらえる」という考え方の提案（政策経営課） ・ 「あづみん」の利用を高めるための高齢者へのメッセージの発信と利用者の声を聞くしくみづくりの提案（政策経営課）
---------	---

【市長答弁】

続いて、戸田議員のご質問にお答えします。

高齢者の交通安全対策についてですが、安曇野警察署管内の高齢者の事故発生状況といたしましては、昨年、高齢者関連事故件数が170件、死者数5名、傷者数103名で、全事故中に占める高齢者の割合は41.4%にのぼります。

高齢者の交通事故防止を図るため、参加体験型の交通安全教室の開催や高齢者宅の訪問のほか、運転に不安を持つ高齢者に対し、デマンド交通への利用を促し、事故防止のための支援策となる「運転免許証自主返納支援事業」を推進しています。

その「あづみん」の利便性向上に向けては、毎年、利用者の皆様にアンケート調査を実施し、改善できることはすぐに取り組んでいます。

戸田議員さんも、学校で開催される交通安全教室で歩行者や自転車の交通ルールやマナーについて勉強されていると思いますが、中学生の皆さんも高齢者の立場に

立って考え、困っている人を思い、助ける気持ちを大切に
にさせていただき、地域に暮らす皆さんがお互いに協力し
て助け合える、安全・安心なまちづくりの実現にご協力
いただきたいと思います。

【中学生議会 市長答弁様式1】

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	百瀬瑛都 議員
発言順(通し番号)	NO : 3	所 管 課 ・ 室 名	地域づくり課

質 問 事 項	・歩行者の交通安全対策について
---------	-----------------

【市長答弁】

続いて、百瀬議員のご質問にお答えします。

本市におきましては、昨年、交通事故発生件数 389 件、負傷者数 492 名であり、前年に比較し減少傾向となっておりますが、死者数は前年より 5 名増加した 7 名でした。

このような悲惨な交通事故を防止するためには、警察署や交通安全協会などの関係機関、団体と連携した交通事故防止対策に努めるとともに、市民一人ひとりが、正しい交通マナーとルールを守る意識の高揚が必要であり、「自分の命は自分で守る」ことが大切であります。

また、ドライバーは歩行者の立場に立ち、歩行者もドライバーの立場に立ち、それぞれが思いやりを持つことが重要と考えております。

市では、保育園、幼稚園での歩行指導をはじめ、小中学校では、公道での歩行マナーや道路横断の実地訓練を指導するとともに、高齢者交通安全教室での歩行体験を通して総合的な歩行者の安全確保を図る施策の充実に取り組んでいます。

学校でも、生徒会活動などを通じて、交通ルールやマ

ナーの^{じゅんしゅ}遵守について、生徒の皆さんに呼びかけていただき、安全・安心なまちづくりにご協力をいただきたいと思います。

【中学生議会 市長答弁様式1】

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	木村 悦士議員
発言順(通し番号)	NO: 4	所 管 課 ・ 室 名	環境課

質 問 事 項	環境について
---------	--------

【市長答弁】

続いて、木村議員のご質問にお答えします。

近年、地球温暖化をはじめとした環境問題が大きな関心事になっています。

限りあるエネルギーの使用量削減は、エネルギー利用に伴う環境負荷削減を通じた環境保護対策として、重要な手法の一つとなっています。

次世代を担う皆さんが取り組まれている節電節水は限りある貴重な資源である水資源の有効利用、二酸化炭素排出量の削減による地球温暖化防止にもつながります。特に皆さんが飲んでいる美味しい水も、電気を使って地下からくみ上げられています。水は大切な資源です。皆さんも水を大切に使ってください。

市においても温室効果ガス削減に向けた地球温暖化対策に取り組んでおります。今日の難しい環境問題に対して「私たちにできることを」考え、行動していくことが大切です。

質問にありましたグリーンカーテンについてもその普及に務め、苗の配布など行っています。

今後とも皆さんと一緒に、継続した取り組みを実施してまいります。

【中学生議会 市長答弁様式1】

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	寺島美侑議員
発言順(通し番号)	NO:5	所 管 課 ・ 室 名	都市計画・建築住宅課

質 問 事 項	緑をまちなかにもっと取り入れるため、市の所有地には市が植栽し、私有地には企業や家庭の協力で植栽してもらいたい。
---------	---

【市長答弁】

続きまして、寺島議員の質問にお答えします。

寺島議員がご指摘のとおり、安曇野インターチェンジや鉄道駅など、まちなかにおける交通の主要な地点は、市としても積極的に緑化を図っていく場所であると考えております。

また、屋敷林と水田が作り出す豊かな田園風景は安曇野市が誇るべき財産であり、市民の皆さんのご協力をいただきながら維持していかなければなりません。

市では次世代に誇れる景観づくりを目的として、平成23年3月に「安曇野市景観計画」を策定し、同年4月から「安曇野市景観条例」による運用を開始しています。

建築等を行う際には、内容や規模に応じて届出をしていただき、景観計画との整合を図ることで、より良い景観づくりを目指しています。

住宅地の緑化対策といたしましては、今年度から「緑のまちづくり事業」を実施し、お子さんの誕生、小学校入学、住宅の新築、ご結婚の記念として4,000円相当の記念樹を無料で配布し、また、生垣設置等の費用を助成しています。

これにより、市が景観づくりガイドラインで目標と

するの緑化率に近づくよう取り組んでまいります。

また、現在、「既存の緑地の保全」と「将来の緑化の推進」を図るための指針である「緑の基本計画」を策定しています。

この計画は、本市が目指す「田園産業都市 安曇野」にふさわしい緑のあり方を示し、将来を見据えた緑地の配置に関する方針を定めるものであります。

以上のように、市では積極的な緑化の促進を図っています。